

安全・安心なまちづくり 人と人とのつながり・地域を大切に



小金井で元気に！小金井を元気に！

五十嵐京子 通信 第32号

2013年1月発行 五十嵐京子を支援する会・小金井市本町3-8-9 312 電話042-3384-9920

防災に一番必要なのは地域の絆

安全に暮らし続けられる環境は市民の願いです。一昨年の東日本大震災では、災害への最大の備えが「人と人との絆」であることを私たちに教えてくれました。

私は町会の役員として自主防災会を立ち上げ、防災会を軌道に乗せるために地域の方々と活動をしてきました。その過程でわかったことは、小金井市の自主防災会の組織率が26%しかないということです。東日本大震災の教訓を忘れず小金井で生かすためには、遅れている自主防災会の組織化を進め、住民同士で顔の見える関係を作り、いざという時に備える必要があります。

さらに、地域の商店会や学校と連携し、防



防災用トイレの組立訓練

情報の提供拠点としての商店の協力や、日ごろからの訓練を通じ学校との連携を図るなど、人と人の顔が見える地域づくりも必要です。こうした地域づくりは防犯対策としても

駅周辺の整備は防災上も重要

東日本大震災の時は東京でも帰宅困難者が出るなど大きな影響がありました。日常多くの人が行きかう駅周辺は、いざとなると多くの人であふれ、広場や道路の整備は防災上最も重要です。武蔵小金井駅南口は再開発により広い駅前広場が整備されました。帰宅困難者対策のためにもJRとの協力関係は今後更に強化していくべきです。

今、武蔵小金井駅南口はバスの利用も買い物も便利になり、市民ホールも完成し、多くの利用者であふれています。小金井の顔として、訪れる多くの方から感動の言葉もいただいています。この整備には多くの困難が伴いましたが、整備して良かった、便利になったと、沢山の市民の声も寄せられ

ています。以前のような狭い駅前だったら、災害時の不安はさらに大きなものになっていったでしょう。災害時には拠点となる大きな空間は必要不可欠なものです。

武蔵小金井駅北口の街づくり

武蔵小金井駅北口も周辺道路状況は決して十分とは言えません。中央線の高架が完成し、周辺の整備が始まる今が最後のチャンスです。

駅周辺は市民が日常生活に必要なものを求める商店が必要な地域です。しかしマンション建設のたびに商店が少なくなる現状を何とかしなければなりません。安全で市民が通行しやすい環境整備を進め、小金井北口の玄関として、にぎわいのある街づくり、さらに市民が活用できる施設づくりを進めます。

商店と消費者をつなぐ

江戸東京野菜の普及や、黄金井名物市などの商工会が行うイベントには様々なアイデアが生かされ、地域の活性化に役立っています。日常消費者が求めるものや、イベントの認知度などの調査を充実し、商店の更なる活性化を進めます。

やすらぎのある街をめざして

